



Vol.106

2014年12月号

わらわ

ふみだそう、福祉でまちづくり

第51回 茅野市社会福祉大会

入場
無料

『自分らしく生きる、生き方のコツ』

～自分を大切にすることは、地域を愛するということ～

日時 平成26年12月20日(土)
13:30～16:15

会場 マリオローヤル会館

【手話通訳・要約筆記があります】

■第1部 式典 (13:30～)

社会福祉貢献者表彰、ボランティアグループ表彰

■第2部 マიმ・パフォーマンス(14:10～)

《じゅんじゅん》によるパントマイム

■第3部 講演会 (14:30～)



講師

松本市 神宮寺 住職

たかはし

高橋

たくし

卓志さん

演題

『生き方のコツ、
死に方の選択』

高橋卓志さんは、これまでチェルノブイリやタイのHIV感染、東日本大震災など、支援活動にエネルギーに取り組んでこられました。長野県内で数多くのNPOを立ち上げたご経験を踏まえ「いのちを支える」として「死を考える」ということについて、熱く語っていただきます。

現在、高橋卓志さんは講演を一切行っておりません。今回は茅野市のために特別にお引き受けくださいました。

高橋卓志さんの熱い、熱いメッセージに触れるまたとないチャンスです。「自分らしく生きる」とはどういうことか、今一度問い直す機会としませんか。

命

子ども病院物語「電池が切れるまで」の仲間たちより。宮城由貴奈ちゃんが十一歳で書いた詩。



命はとても大切だ
人間が生きるための電池みたいだ
でも電池はいつか切れる
命もいつかはなくなる
電池はすぐにとりかえられるけれど
命はそう簡単にはとりかえられない
何年も何年も
月日がたつとやっつ
神様から与えられるものだ
命がないと人間はいきられない
でも
「命なんかいらないう。」
と書いて
命をむだにする人もいる
まだたくさん命がつかえるのに
そんな人を見ると悲しくなる
命は休むことなく働いているのに
だから、私は命が疲れたと書いて
せいっぱい生きよう

紅葉の美しい御獄山が九月二十七日突然噴火。恵みであるはずの雨も度を越すと南木曾町、広島市のような大災害となる。

私たちは時に牙をむく大自然の中に「生き」生かされて「いる」。自然との共存は難しいことですが、今その中で生きていくことに喜び、感謝の気持ちを持って毎日を過ごしたい。

『シャララ・ほっとサービス』に あなたの“ちから”をお貸しください

平成12年に始まったこのサービスには、市民のみなさんから寄せられる要望も様々です。掃除、洗濯などの家事全般から買い物や病院の付き添い…。

そんな中で、最近特に要望が多くなってきているのが子育てに関することです。「近くに頼れる家族がない」「保育園のお迎えに困る」など、小さいお子さんを持つ親御さんから、多くの手伝いの希望が寄せられます。

そこで、今回は子育ての **協力会員を大募集** します。

協力会員として活動していただくと、1時間あたり800円程度が支給されます。

活動内容



「子どもが好きなので、少しでもお手伝いがしたい…」

「自分の空き時間を利用して子育ての手助けがしたい…」

そんな思いをお持ちの方、ささえあいの子育て支援にみなさんのお力をお貸しください!

専門的な知識がない方でも安心。社協が全力でサポートします。

少しでも興味のある方は、お気軽に説明会にご参加ください。

新規協力会員大募集!!

『子育て協力会員説明会』

- 〈とき〉 12月10日(水) 19:00~21:00
- 〈ところ〉 茅野市総合福祉センター
- 〈内容〉 シャララほっとサービスの説明、協力会員の体験発表 ほか
- 〈締切り〉 12月5日(金)
- 〈申込先〉 茅野市社会福祉協議会 TEL 73-4431 (担当:浅川^{あさかわ})



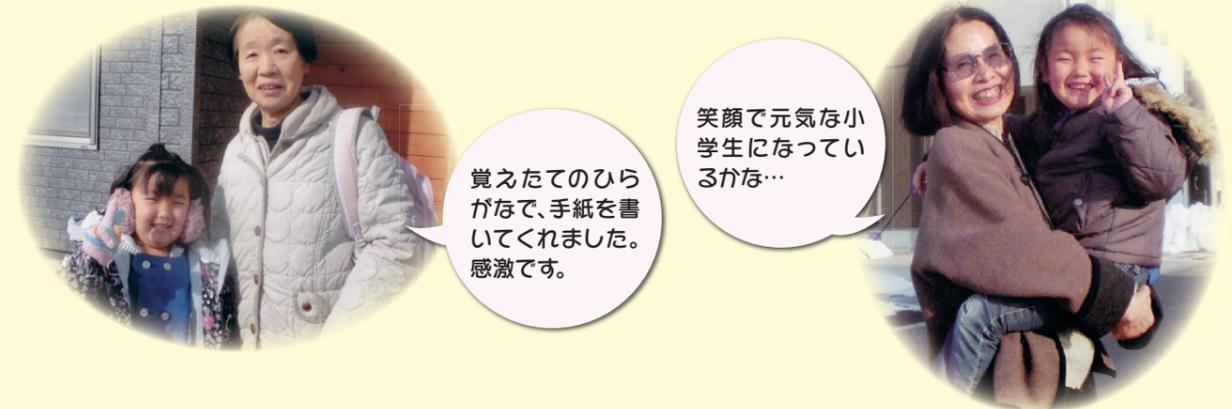
高齢者や障害のある方、子育て中のご家庭など、日常生活でちょっと誰かの手助けが必要になった時、会員同士の「おたがいさま」の気持ちを大切にしたい助け合いの活動がシャララ・ほっとサービスです。

利用会員さんからのメッセージ

(元)利用会員 立木なぎささん

シャララさんとの出会いは、配布された広報でした。私の仕事柄どうしても保育園の送り迎えに間に合わない日ができてしまい、無理かと思いつつ電話をしてみました。対応してくださった方が親切で親身になって考えてくださいました。以前は友達にお願いしていたのですが、やはり気を使わせていたこともあり、シャララにお願いできたら割り切ろうと思いました。実際にサービスが始まり、何より協力会員さんがとても親切で、娘のわがままにも上手に付き合っていていただき、身内以上の関わりが生まれたように感じます。

子育ては1人で頑張れるものではなく、地域の方、家族の支援があってできるんだと感じた日々でした。娘にはさびしい思いをさせたかもしれませんが、社協の方をはじめ協力会員さんの温かい励ましと対応で、元気に保育園に通うことができました。言葉では表しきれない対応に感謝の気持ちでいっぱいです。地域の繋がりが温かいですね。



協力会員さんからのメッセージ

協力会員 永易真知子さん

平成12年、シャララ・ほっとサービスの立ち上げ当初から協力会員として関わってきました。それまでボランティアとして20年以上の経験から、有償サービスの必要性を行政などに訴えてきましたが叶いませんでした。

15年前茅野市に移り住み、このサービスが始まることを知った時の小躍りするような嬉しさを今でも忘れることはできません。ボランティアも受ける側も違った“心苦しさ”がついて回ります。ボランティアは無償という概念が日本では当たり前になっていますが、もともとアメリカで始まったボランティア活動と呼ばれるものは有償です。人と人が対等な立場になってこそ信頼も生まれます。苦しんでいる人、困っている人たちに寄り添う社協の一事業として多くの住民の方たちに理解されながら《おたがいさま》の心で温かいこのサービスをこれからも続けていくことができますようにと願わずにはられません。相手の要望に応えながら温かい信頼も生まれる、まさに社協だからこそできる活動ではないでしょうか。



利用会員さんの家で(右 永易さん)



行って
きました!

希望の旅



～在宅で生活されている障害のある方と介護者の旅～



今年度の希望の旅は、10月1日(水)に総勢31名で、「世界遺産・富士山を訪れる～河口湖北原ミュージアムと富士山五合目～」へ行ってきました。北原ミュージアムでは、昔遊んだブリキのおもちゃやレコードを懐かしみ、昨年世界遺産に登録された富士山五合目で自然を感じてきました。

河口湖からは残念ながら富士山を見ることができませんでしたが、五合目に到着した直後に雲の切れ間から頂上を見ることができ、思わず歓声が上がりました。参加者のみなさんには、ゆっくりと楽しい時間を過ごし、参加者同士の交流を深めていただきました。

～～～ 参加された方の声 ～～～

- ★富士山五合目は生まれて初めて行き、楽しい1日になりました。
- ★五合目の美しい紅葉に感動しました。
- ★晴れて頂上も見られて本当によかった。
- ★おもちゃミュージアムの収蔵品の多さに感動しました。

来年のご参加をお待ちしております。



家庭介護者『いこいの集い』

10月16日、青空の下、ご家庭で介護されている32名の方達が、紅葉など景色を楽しみながら山梨県白州や野辺山・清里を巡るバス旅行に参加されました。



サントリー白州工場ではペットボトルの水の製造過程を見学した後、美味しいお水やウィスキーの試飲でほっと一息。

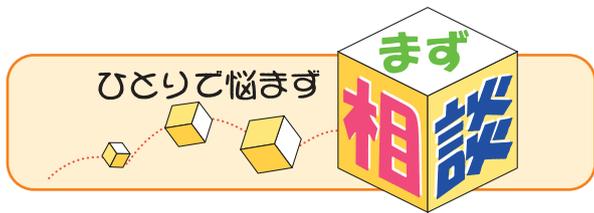
昼食はナチュラルビュッフェで、高原野菜や美味しいお肉を堪能。日本一標高が高い野辺山駅では、記念切符を購入。ハケ岳チーズケーキ工房でお買い物を楽しみ、秋の山梨県をぞんぶんに楽しみました。

参加者のみなさんには、今後の活力を養っていただくことができたでしょうか。

今年度は、年明けにもう1回開催を予定していますので、ご家庭で介護にあたっているみなさんは、ぜひご参加ください。

社会福祉協議会では、日頃、遠方に出かける機会の少ない障害のある方を対象とした小旅行や、介護者の元気回復を図るための企画を実施しています。例年、初めて参加される方も大勢いらっしゃいます。

これらの事業には、みなさんからお寄せいただいた社協会費が使われています。



人生には様々な悩みがあります。だれにも相談できない、どこに相談したらよいかわからない。そんなときは、まず社協にお電話ください。

心配ごと相談

どんなことでもご相談ください。
 (第3金曜日は年金相談もできます。)
 毎週金曜日 午前9時～正午
 相談員：心配ごと相談員
 心の悩み相談には、事前の予約が必要です。
 (精神保健福祉士が対応)

結婚相談

結婚を望まれる方の相談窓口
 毎月第1・3土曜日
 午後1時～午後4時
 第2・4金曜日
 午後6時30分～午後8時30分
 相談員：結婚相談員

司法書士の法律相談 (予約制)

身近な法律に関する相談
 毎月第2水曜日 午後3時～午後5時
 相談員：司法書士 予約電話/73-4431

あなたと家族の悩み相談 ～家族のサポートライン～

ご家族を亡くされた方、病気に直面されている方
 ご相談ください。
 毎月第1月曜日 午後2時～午後4時
 相談員：ボランティア
 直通電話/82-0400

福祉やボランティアの相談

月曜日～金曜日 午前8時30分～午後5時30分
 電話/73-4431 FAX/73-8030

相談は、総合福祉センター3階の相談室
 または1階の社協事務所までお越しください

社協情報紙 やらがま Vol.106

2014年12月号

発行/社会福祉法人 茅野市社会福祉協議会
 編集/やらがま編集委員会
 〒391-0002 茅野市塚原2-5-45
 TEL (0266)73-4431
 FAX (0266)73-8030
 URL: http://sharara.or.jp
 E-mail: support@sharara.or.jp

社協情報紙 やらがま の発行にはみなさんの会費と共同募金が使われています。

読者の声

- ・これからも楽しみに目を通します。
(ちの 女性)
- ・新サンマを店頭で売っていました。おいしそうだなあ、秋を感じました。
(玉川 70代 女性)
- ・先日区内のいきいきサロンを開催したところ、多くの方の参加をいただき、楽しい時間を過ごして嬉しく思いました。また来年も予定しています。やらがあの金田和尚のつぶやきを自分でも実行しようと思います。まず、ひとつずつ始めていきたいですね。
(湖東 60代 女性)
- ・茅野市役所で赤い羽根に、わずかですが募金しました。福祉活動に有意義に使われますようお願いいたします。
(湖東 70代 男性)



今回のクイズ 正しい日本語はどっち?

次の文章A・Bのうち、どちらが正しいでしょう

Q1
 A「食べれないものはありますか？」
 B「食べられないものはありますか？」

Q2
 A「土曜日は、休ませていただきます」
 B「土曜日は、休ませさせていただきます」

Q3
 A「バスでも行けますよ」
 B「バスでも行けますよ」

応募要領
 クイズの答え、住所、氏名、年齢(年代)、電話番号に社協へのご意見、ご要望、やらがあの感想、つぶやきなど一言添えて社協までお送り下さい。正解者の中から抽選で3名の方に図書カードを差し上げます。

応募締め切り
 12月20日

前回のクイズの答え
 ③愛ちゃんと希望君



当選者
 矢崎和彦さん(湖東) 牛山フミ子さん(湖東)
 小尾彩乃さん(豊平)
 当選された方には図書カードをお送りいたします。

たくさんのご応募ありがとうございました。

